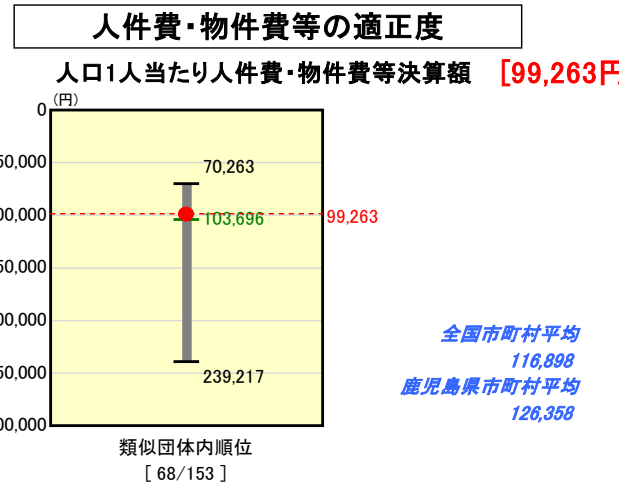
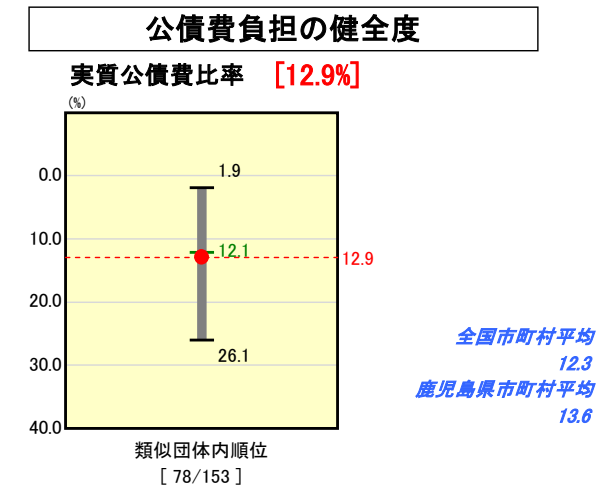
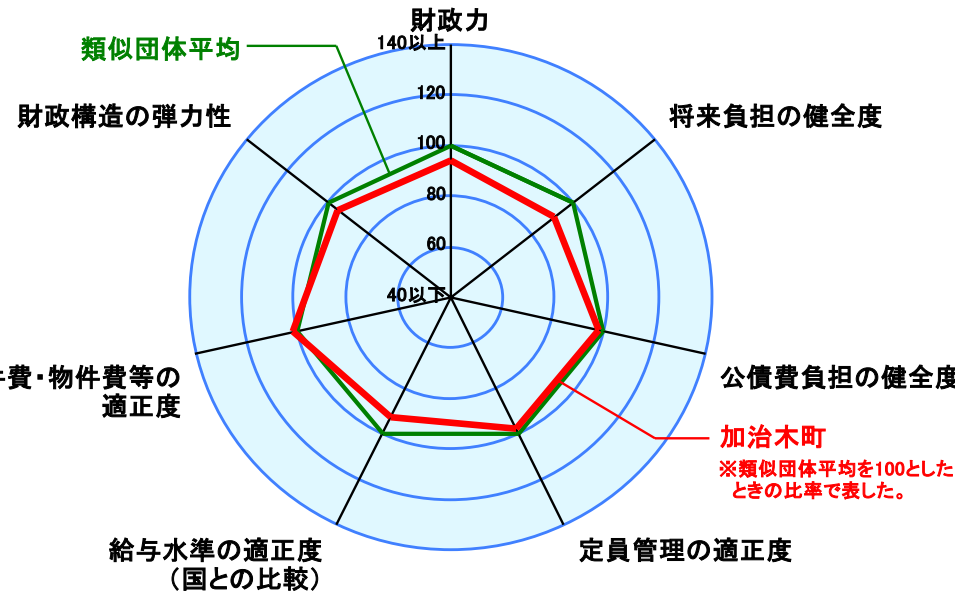
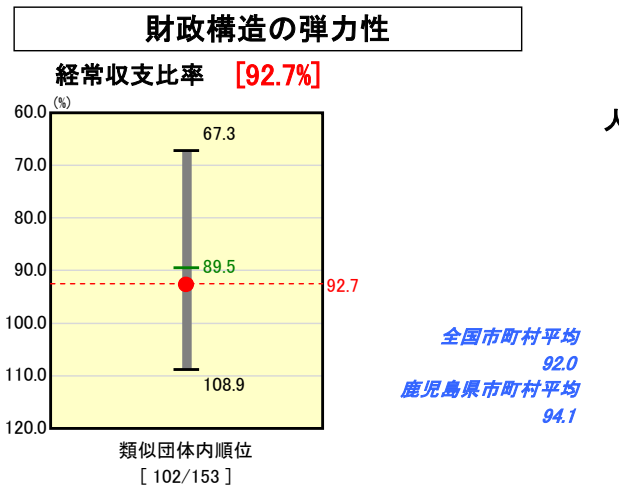
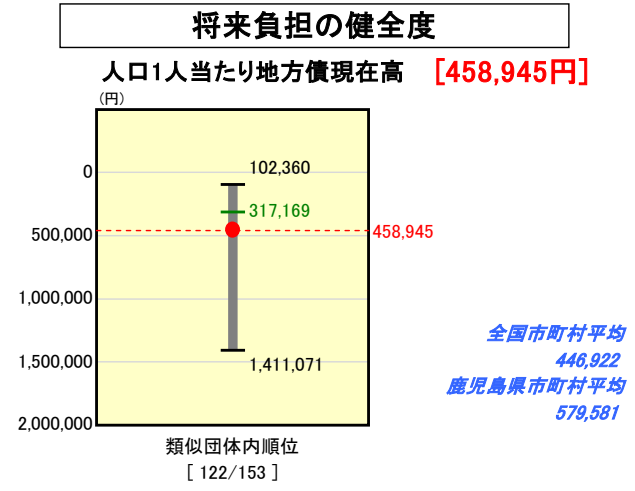
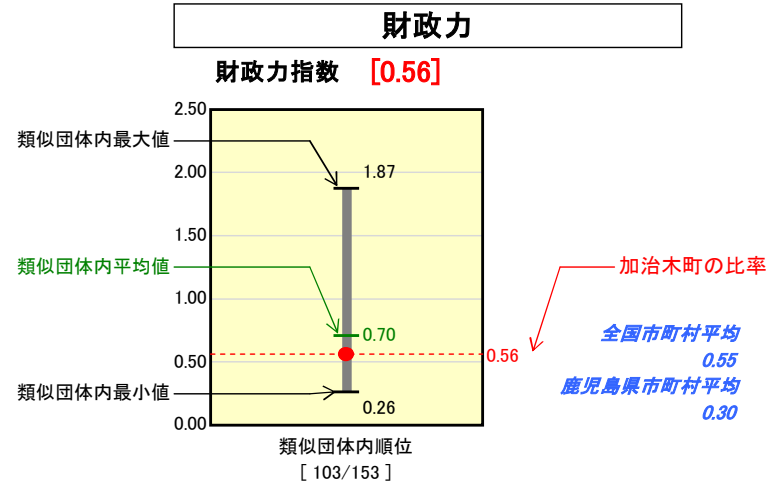


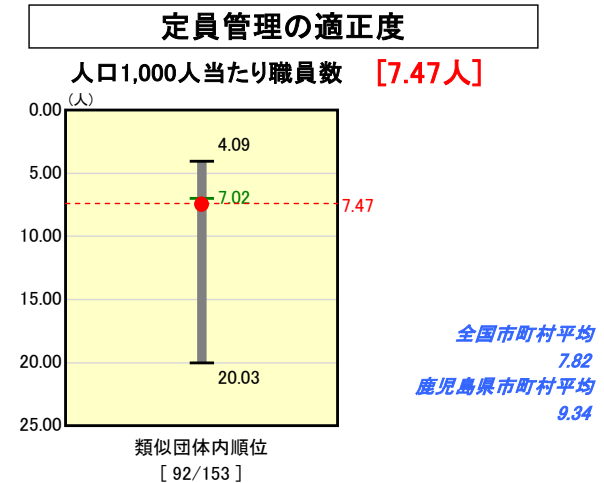
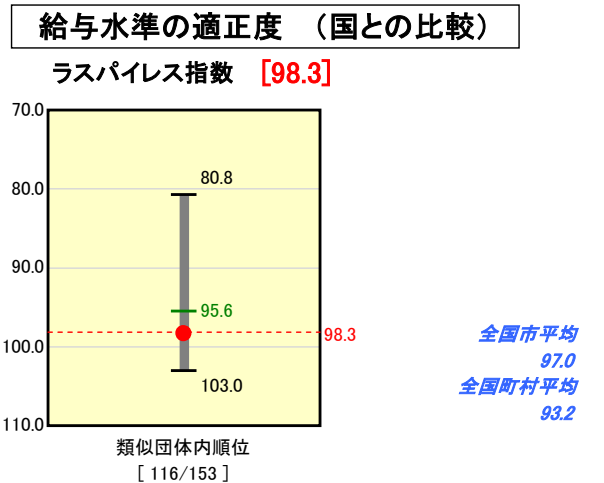
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 鹿児島県 加治木町

人口	22,093 人(H20.3.31現在)
面積	47.51 km <sup>2</sup>
歳入総額	6,602,623 千円
歳出総額	6,409,450 千円
実質収支	193,173 千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
※平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
※ラスパイレース指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数**  
ここ数年上昇しているものの、類似団体内平均値には及ばない。これは、景気の低迷の影響や人口の減少により財政基盤が弱いことによると考えられる。退職者不補充による人件費の削減、事務事業の見直し、投資的経費の上限設定等歳出の抑制をはかるとともに、税収の徴収率向上対策を中心に歳入確保に努める。

**経常収支比率**  
福祉関係経費の増加により類似団体平均を上回っている。国や県の補助事業分の上乗せ支給や、町単独で行っているため扶助費については見直しを進める等抑制に努め、また、人件費に係るものが比較的高い水準にあるため、人件費の削減など集中改革プランに掲げた取組の実施により改善を行っていく。

**ラスパイレース指数**  
55歳昇給抑制を図るなど給与の適正化に努める。

**人口1人当たりの地方債残高**  
類似団体平均を上回っているが、新規地方債発行の抑制等により、類似団体平均の水準になるように努める。

**実質公債費比率**  
地方債発行の抑制等により実質公債費比率の上昇を抑えるように努める。

**人口1,000人当たり職員数**  
類似団体平均を若干上回っているが、定員適正化計画により平成17年4月1日から平成26年4月1日までの削減目標率を23%とし、平成26年4月1日時点で職員数について、合計135人を目標に削減に努める。